

三条市地域公共交通網形成計画(案)に対する意見と三条市地域公共交通協議会の考え方

平成30年8月23日(木)から29日(水)まで実施しました本計画に係る意見聴取において、6人、1法人、7件の意見をいただきましたので、当協議会の考え方についてお示します。

No.	意見要旨	考え方
1	運転免許証を返納し自家用車がなくても移動できる公共交通機関を確立する必要があり、そのためには本計画が重要であると考えます。	御意見のとおりであり、本計画の将来像にも掲げているとおり、市民や来訪者が永続的に使い続けられる公共交通を目指してまいります。
2	井栗地区コミュニティバスの利用対象者の拡大や事業者が運行している無料送迎バスを活用して途中降車を可能にする柔軟な運行の実現などにより利便性の向上を図ってほしい。 また、他市との連携等により、東三条駅～道の駅(庭園の郷保内、地場産センターなど)や下田方面の交通機関を充実し、集客につなげてほしい。	御指摘の方法だけでなく、計画に掲げている地域主体のコミュニティバス拡大等の事業について検討してまいります。 また、公共交通の充実により観光施策に活かしていくことについては、実施方針にも掲げているとおりであり、具体的取組として、デマンド交通を活用した観光企画等について検討してまいります。
3	公共交通体系の考え方については同感であり、要望としては、停留所間を運行しているデマンド交通について、高齢者や気象条件が悪い場合等は目的地で降車できるよう融通が利くとよいと思う。 また、公共交通のPRが不足しているように感じられるので、多くの方から理解を深めてもらえるようにしてほしい。	デマンド交通については、本年6月から土日祝日を含む全日運行を実施するなど利便性の向上を図っているところであり、引き続き移動利便性の向上について検討してまいります。 また、PR不足については、例えば高齢者の集まる機会などを捉えて出張講座を行うなど、公共交通に関する理解を深めていただけるよう努めてまいります。
4	現在運行している路線について、利用状況や運転士不足等の事情を勘案し、存廃の検討協議に応じてほしい。	計画に掲げた個別の事業について、交通事業者と丁寧に協議しながら検討してまいります。
5	バス車両が大きすぎるので、小型の車両を用いてはどうか。	個別事業の中で、利用者を勘案しながらより使いやすいバス運行への見直しを検討することとしております。
6	下田地域、栄地域の通学や高齢者の通院に係る輸送に重点を置いてほしい。	基本方針に「日常生活溶け込む既存の公共交通の磨き上げ」を掲げており、デマンド交通等の移動利便性の向上や高校生のバス等利便性の向上により、御指摘の点について検討してまいります。
7	帯織駅周辺の交通機関が何もなく送り迎えが大変である。	たとえば、住民のニーズに即した交通手段の確立に向け、個別事業に掲げています地域主体のコミュニティバスの拡大などを検討してまいります。